

青果物



佐賀県 唐津スノーベリー協会 『白いちごを香港、東南アジアへ』

【主な品目】

いちご(白・赤・ピンク(さくらいちご))

【主な輸出先国・地域】

香港(約85%)

シンガポール、マカオ、タイ、マレーシア

【輸出取組の概要】

- ◆ 差別化を図るため、独自に白いちごの品種開発を進めていたところ、輸出業者からの商談に応じる形で平成25年から香港への輸出を開始し、その後、シンガポール、マカオ、タイ、マレーシアに輸出先を広げている。
- ◆ 香港では、赤いちごと白いちごを組み合わせた「紅白」のパックがおめでたいということで、贈答品として人気がある。

【輸出実績】 (平成25年度より輸出開始)

	輸出量(t)	出荷時期
平成25～ 平成29年度	約3.5t/年	12～4月

【効果があった取組】

- ・ウレタン製の緩衝材やイチジク用の梱包材を活用した荷痛み防止対策を講じたこと。
- ・白、ピンク、赤の3色をアレンジした彩り豊かなパック販売。

【取り組む際に生じた課題】

- ・輸送時に荷痛みが発生し、それに伴うクレームが多くあった。
- ・単に白いちごだけではインパクトに欠ける部分があった。

【生じた課題への対応】

- ・業者と検討・改良を重ねて、1果毎の包材にウレタン製の緩衝材やイチジク用の梱包材を利用した。
- ・紅白のパックの他に、白・ピンク・赤の3色をアレンジした彩り豊かなパック販売に取り組んだ。

【対応の結果】

- ・包材を工夫したことにより、荷痛みが防止でき、クレームがほとんどなくなった。
- ・3色をアレンジしたパックは、市場で評価を得た。

【今後の課題・展望】

- ・現在取り組んでいる減農薬・減化学肥料栽培は輸出面でも有利であり、それを継続し、現在の輸出量を維持していく。
- ・可能であれば輸出量を拡大したいが、共に白いちご栽培に取り組む農家を増やすことが課題。



スーパーでの展示状況(香港)



現地のPRチラシ